

第50回特別展

# 近代をつくった大工棟梁

— 高松の大工久保田家とその仕事 —

2008.11/15(土) - 12/28(日)

開館時間:午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)  
月曜日休館(11/24(月・祝)は開館、翌11/25(火)は休館)

Takamatsu Historical Museum  
高松市歴史資料館

〒760-0014 高松市昭和町一丁目2-20  
(サンクリスタル高松4階) Tel.087-861-4520

観覧料 一般300円 高・大生200円 小・中生100円 \*20人様以上の団体は2割引  
\*長寿手帳・身体障害者手帳等の所持者は無料 \*会期中の土曜日は小・中・高生は無料

主催 高松市歴史資料館 高松市教育委員会 住宅総合研究財団  
後援 朝日新聞高松総局 NHK高松放送局 OHK岡山放送 産経新聞高松支局 山陽新聞社 RSK山陽放送 四国新聞社  
KSB瀬戸内海放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送 毎日新聞高松支局 読売新聞大阪本社 社団法人日本建築士会連合会  
社団法人香川県建築士会 社団法人日本建築学会四国支部 建築史学会 香川県建設業組合  
協力 神奈川大学建築史研究室

正面図(香西小学校玄関部)



第50回特別展

# 近代をつくった大工棟梁

—高松の大工久保田家とその仕事—

平成19年、高松市在住の久保田家より、建築図面をはじめとする膨大な古文書史料を寄贈いただき、「久保田家文書」として当館で所蔵することとなりました。久保田家は代々宮大工として栄え（主に15代〜19代）、江戸後期から昭和30年代まで広く活躍しています。久保田家が手がけた仕事は、香川県を中心に、岡山、和歌山、果ては北海道に至るまで日本全国に広がっており、その建築物も神社仏閣をはじめ、学校や病院など多方面に及んでいました。

明治・大正・昭和という激動の時代を、久保田家は宮大工として、また、大工棟梁としてどう乗り越えていったのか—

本来、役目を終えれば捨てられる運命であった図面たちが、長い年月を経てなお、建物や時代の息吹を鮮やかに、そして生き生きと、私たちに語りかけてくれます。



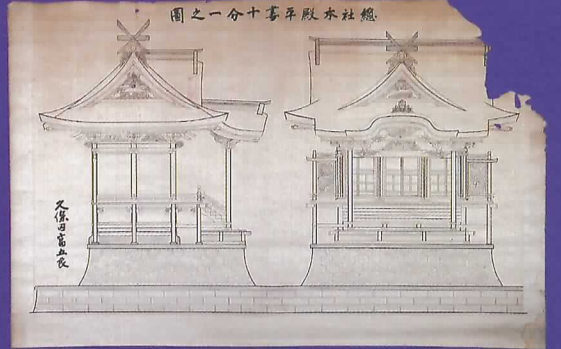
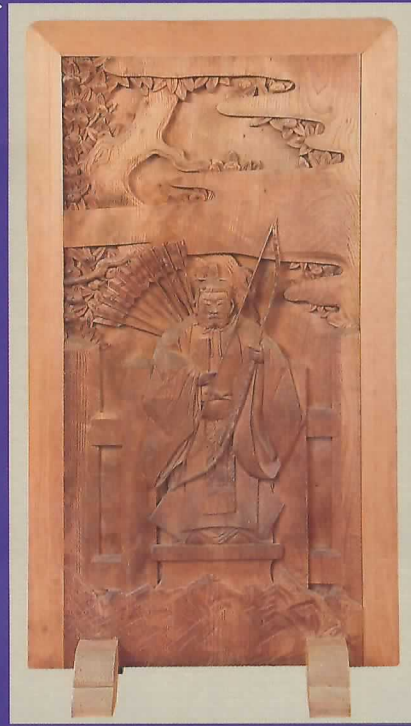
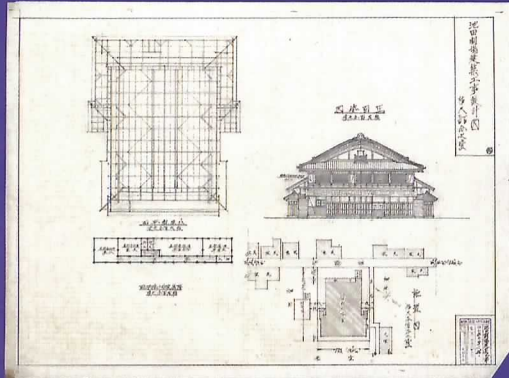
▲ さぬき市大川町・西教寺麒麟彫物絵様

▶ 衝立・隨身（坂出市高屋町・高屋神社脇障子彫物と同じ絵様）久保田家所蔵



▶ 小豆郡小豆島町・池田劇場1/50外観復原模型 神奈川大学建築史研究室所蔵

▼ 小豆郡小豆島町・池田劇場建築工事設計図



▶ 坂出市林田町・総社本殿平裏十分之一図



▲ 墨壺（ねずみの細工）、焼印「久保田組」、提灯（久保田家蔵入）久保田家所蔵

## [関連イベント]

### ■シンポジウム

日時：11月22日（土）午後1時30分～3時30分 場所：サンクリスタル高松3階 視聴覚ホール（先着200名）聴講無料

### ●講演およびパネルディスカッション

西 和夫（神奈川大学教授）	水沼淑子（関東学院大学教授）
谷 直樹（大阪市立大学教授）	山田由香里（長崎総合科学大学准教授）
三浦要一（高知女子大学准教授）	大西由子（高松市歴史資料館）

■展示説明会（展覧会担当者／特別展示室／観覧券必要）・11月15日（土）午後2時～・12月7日（日）午後2時～

Takamatsu Historical Museum  
**高松市歴史資料館**  
〒760-0014 高松市昭和町一丁目2-20  
（サンクリスタル高松4階）Tel.087-861-4520  
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/643.html>



## 次回展覧会予告

- 第5回四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ」  
2009年1月10日（土）～2月8日（日）
- 収蔵品展「長町竹石 文人画の世界」  
2月14日（土）～3月29日（日）